

鳴門市の水道に関するアンケート 報告書

令和 8 年 3 月
鳴門市企業局水道企画課

概

要

1 調査目的

鳴門市の水道利用者に水道に関する意識等についてアンケートを実施する。

2 調査対象者

鳴門市の水道を利用している家庭及び事業所の中から無作為に抽出した1,000件を調査対象とする。

3 実施方法

無作為に抽出した対象者にアンケート用紙及び返信用封筒を郵送し、返送された回答(オンラインを含む)について集計を行う。

4 調査期間

令和7年8月15日～9月12日

5 回答数・回答率

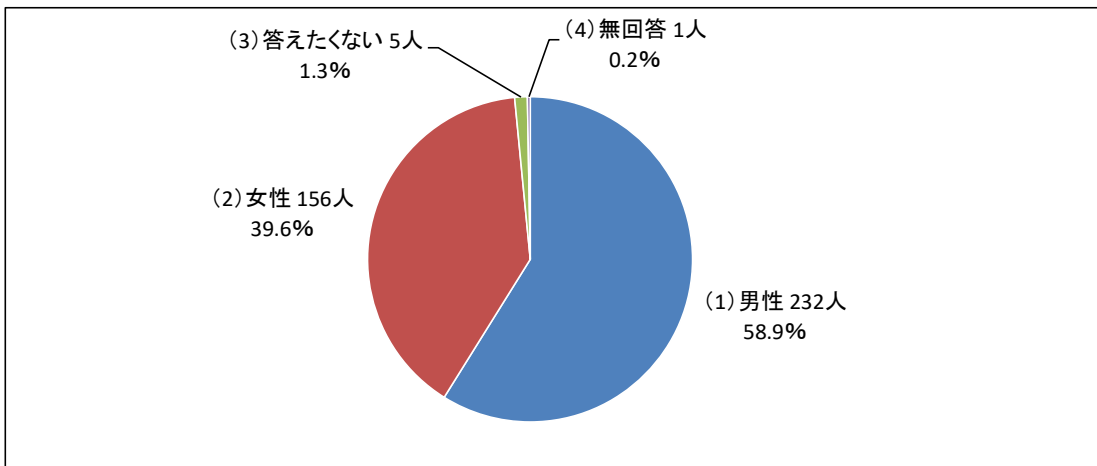
394件・39.4%

「鳴門市の水道に関するアンケート」集計表

令和7年8月実施
無作為抽出者1,000人

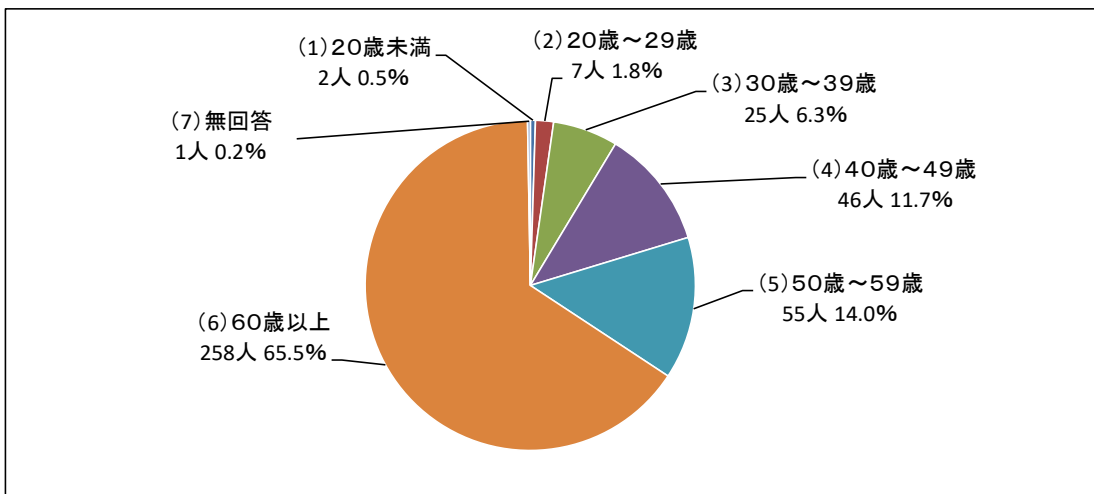
問1 あなたの性別は。

回答数	構成比
(1) 男性	232人 58.9%
(2) 女性	156人 39.6%
(3) 答えたくない	5人 1.3%
(4) 無回答	1人 0.2%
計	394人 100.0%



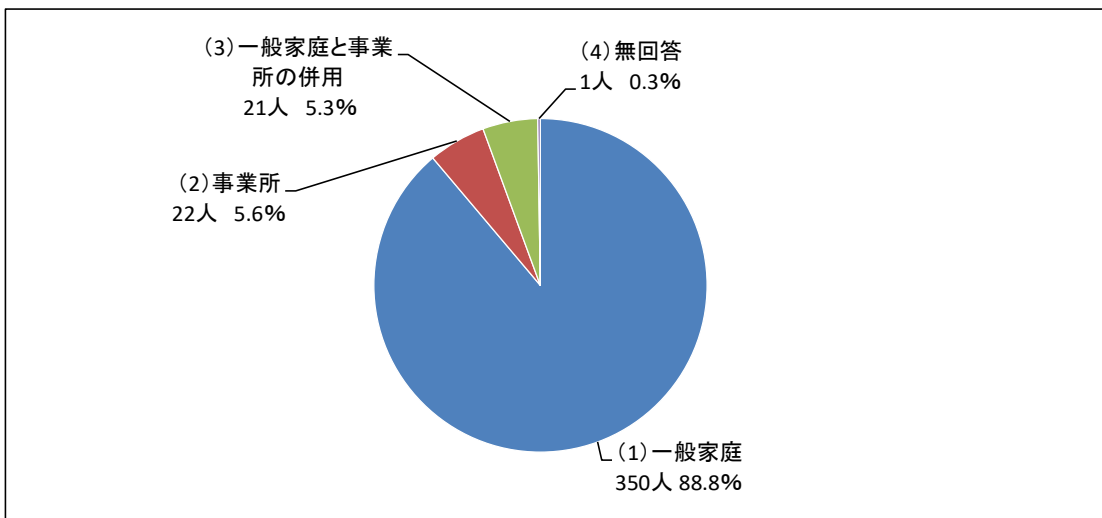
問2 あなたの年齢は。

回答数	構成比
(1) 20歳未満	2人 0.5%
(2) 20歳～29歳	7人 1.8%
(3) 30歳～39歳	25人 6.3%
(4) 40歳～49歳	46人 11.7%
(5) 50歳～59歳	55人 14.0%
(6) 60歳以上	258人 65.5%
(7) 無回答	1人 0.2%
計	394人 100.0%



問3 ご家庭ですか、それとも事業所(事務所、工場、店舗等)ですか。

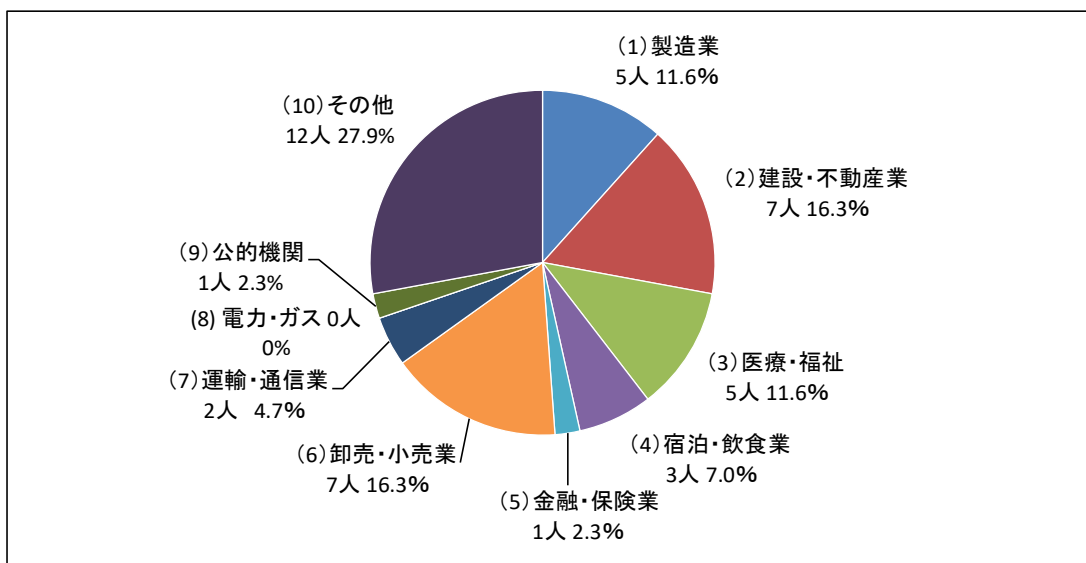
	回答数	構成比
(1) 一般家庭	350人	88.8%
(2) 事業所	22人	5.6%
(3) 一般家庭と事業所の併用	21人	5.3%
(4) 無回答	1人	0.3%
計	394人	100.0%



問4 問3で「(2)事業所」、「(3)一般家庭と事業所の併用」と答えられた方におたずねします。貴事業所の業種は次のうちどれですか。

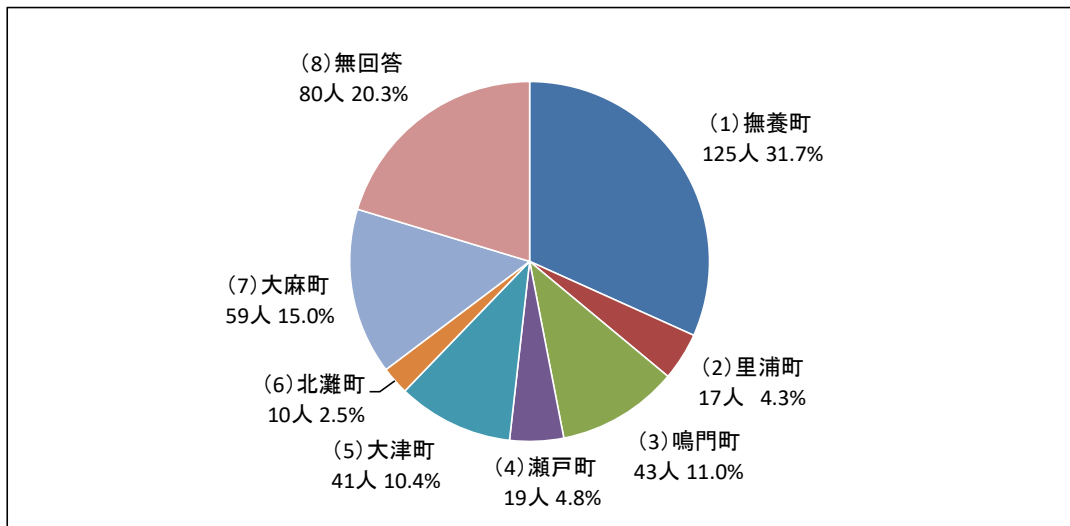
	回答数	構成比
(1) 製造業	5人	11.6%
(2) 建設・不動産業	7人	16.3%
(3) 医療・福祉	5人	11.6%
(4) 宿泊・飲食業	3人	7.0%
(5) 金融・保険業	1人	2.3%
(6) 卸売・小売業	7人	16.3%
(7) 運輸・通信業	2人	4.7%
(8) 電力・ガス	0人	0.0%
(9) 公的機関	1人	2.3%
(10) その他	12人	27.9%
計	43人	100.0%

その他・・・農業、美容院、理容院等



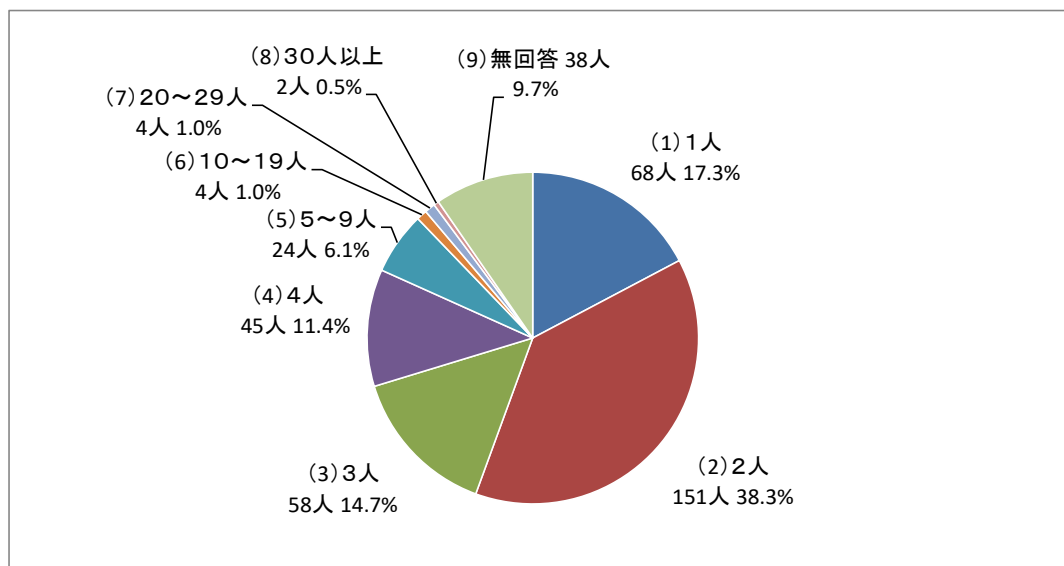
問5 あなた(事業所)の住所は、次のうちどこの地区ですか。

回答数	構成比
(1) 撫養町	125人 31.7%
(2) 里浦町	17人 4.3%
(3) 鳴門町	43人 11.0%
(4) 瀬戸町	19人 4.8%
(5) 大津町	41人 10.4%
(6) 北灘町	10人 2.5%
(7) 大麻町	59人 15.0%
(8) 無回答計	80人 20.3%
計	394人 100.0%



問6 あなたのご家族(事業所の従業員数)は何人ですか。あなたを含めた人数をお答えください。(従業員数は、アルバイト等の非正規雇用の従業員を含みます。)

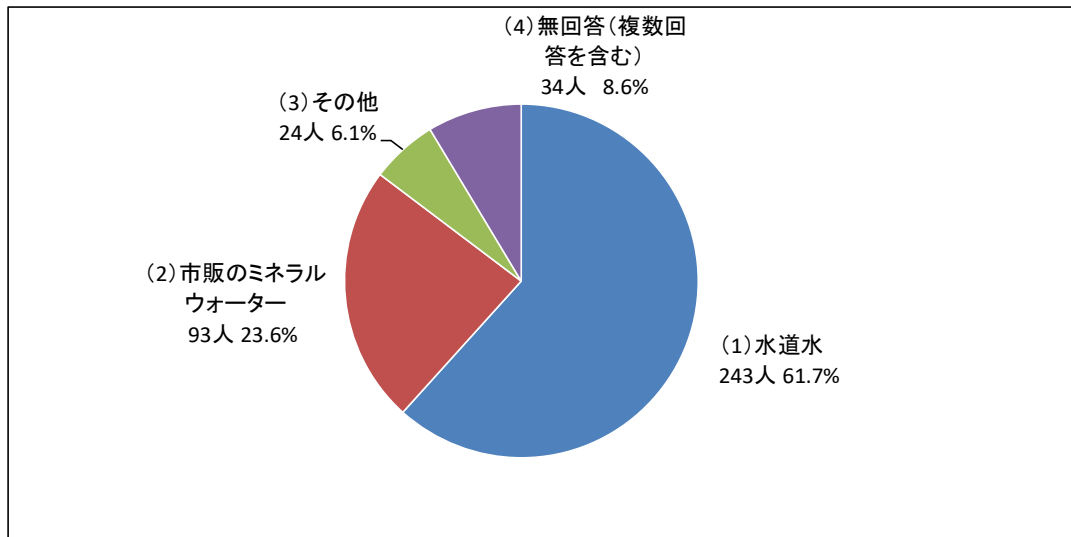
回答数	構成比
(1) 1人	68人 17.3%
(2) 2人	151人 38.3%
(3) 3人	58人 14.7%
(4) 4人	45人 11.4%
(5) 5～9人	24人 6.1%
(6) 10～19人	4人 1.0%
(7) 20～29人	4人 1.0%
(8) 30人以上	2人 0.5%
(9) 無回答	38人 9.7%
計	394人 100.0%



問7 あなたのご家庭(事業所)での主な飲用水は、次のうちどれですか。

	回答数	構成比
(1) 水道水	243人	61.7%
(2) 市販のミネラルウォーター	93人	23.6%
(3) その他	24人	6.1%
(4) 無回答(複数回答を含む)	34人	8.6%
計	394人	100.0%

その他・・・ウォーターサーバー等



○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
水道水	277人	70.5%
ペットボトル	67人	17.0%
その他	24人	6.1%
無回答	25人	6.4%
合計	393人	100.0%

家庭(事業所)での主な飲用水は「水道水」と回答した人の割合は61.7%、前は70.5%であり、8.8ポイント下がっている。

○今回(令和7年度)年代別内訳

選択項目	20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
水道水	2人	100.0%	4人	57.1%	15人	60.0%	25人	54.3%	33人	60.0%	164人	63.6%
市販のミネラルウォーター	0人	0.0%	2人	28.6%	6人	24.0%	16人	34.8%	16人	29.1%	52人	20.1%
その他	0人	0.0%	1人	14.3%	3人	12.0%	4人	8.7%	5人	9.1%	11人	4.3%
無回答(複数回答を含む)	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	4.0%	1人	2.2%	1人	1.8%	31人	12.0%
合計	2人	100.0%	7人	100.0%	25人	100.0%	46人	100.0%	55人	100.0%	258人	100.0%

※問2(年齢)無回答者(1名)を含まない

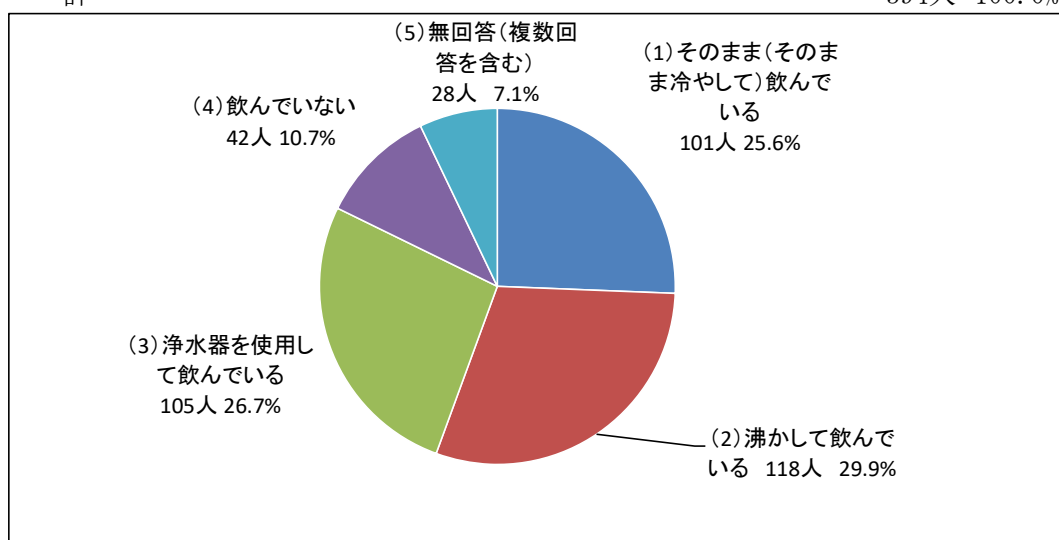
○前回(平成28年度)年代別内訳

選択項目	20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
水道水	10人	58.8%	21人	72.4%	41人	71.9%	42人	71.2%	162人	70.4%
ペットボトル	5人	29.4%	5人	17.2%	13人	22.8%	10人	16.9%	34人	14.8%
その他	2人	11.8%	1人	3.4%	3人	5.3%	4人	6.8%	14人	6.1%
無回答	0人	0.0%	2人	6.9%	0人	0.0%	3人	5.1%	20人	8.7%
合計	17人	100.0%	29人	100.0%	57人	100.0%	59人	100.0%	230人	100.0%

家庭(事業所)での主な飲用水を年代別に見た場合、前回の調査で回答がなかった20歳未満のカテゴリーを除いて、すべての年代で「水道水」と回答した人の割合が下がっている。

問8 あなたは主に水道水をどのようにして飲んでいきますか。

(1) そのまま(そのまま冷やして)飲んでいる	101人	25.6%
(2) 沸かして飲んでいる	118人	29.9%
(3) 浄水器を使用して飲んでいる	105人	26.7%
(4) 飲んでいない	42人	10.7%
(5) 無回答(複数回答を含む)	28人	7.1%
計	394人	100.0%



○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
そのまま(そのまま冷やして)飲んでいる	108人	27.5%
沸かして飲んでいる	150人	38.2%
浄水器を使用して飲んでいる	85人	21.6%
飲んでいない	40人	10.2%
無回答	10人	2.5%
合計	393人	100.0%

水道水を「飲んでいない」と回答した人の割合は、前回・今回ともに約10%となっており、大きな変化は見られない。水道水をどのようにして飲むかについては、前回・今回ともに、「沸かして飲んでいる」と回答した人の割合が最も高かった。しかし、前回と比べて割合は8.3ポイント下がっており、「浄水器を使用して飲んでいる」と回答した人の割合は、前回と比べて5.1ポイント増加している。年代別で見ると、「飲んでいない」と回答した人の割合は、30～39歳が20.0%と最も高く、20歳未満を除くと、60歳以上が8.5%と最も低い。

○今回(令和7年度)年代別内訳

選択項目	20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そのまま(そのまま冷やして)飲んでいる	2人	100.0%	2人	28.6%	5人	20.0%	7人	15.2%	11人	20.0%	73人	28.3%
沸かして飲んでいる	0人	0.0%	1人	14.3%	8人	32.0%	16人	34.8%	10人	18.2%	83人	32.2%
浄水器を使用して飲んでいる	0人	0.0%	3人	42.8%	7人	28.0%	16人	34.8%	22人	40.0%	57人	22.1%
飲んでいない	0人	0.0%	1人	14.3%	5人	20.0%	5人	10.9%	9人	16.4%	22人	8.5%
無回答(複数回答を含む)	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	4.3%	3人	5.4%	23人	8.9%
合計	2人	100.0%	7人	100.0%	25人	100.0%	46人	100.0%	55人	100.0%	258人	100.0%

※問2(年齢)無回答者(1名)を含まない

○前回(平成28年度)年代別内訳

選択項目	20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そのまま(そのまま冷やして)飲んでいる	4人	23.5%	6人	20.7%	17人	29.8%	16人	27.1%	65人	28.3%
沸かして飲んでいる	6人	35.3%	10人	34.5%	22人	38.6%	20人	33.9%	91人	39.6%
浄水器を使用して飲んでいる	3人	17.6%	9人	31.0%	9人	15.8%	14人	23.7%	50人	21.7%
飲んでいない	4人	23.5%	3人	10.3%	9人	15.8%	8人	13.6%	16人	7.0%
無回答	0人	0.0%	1人	3.4%	0人	0.0%	1人	1.7%	8人	3.5%
合計	17人	100.0%	29人	100.0%	57人	100.0%	59人	100.0%	230人	100.0%

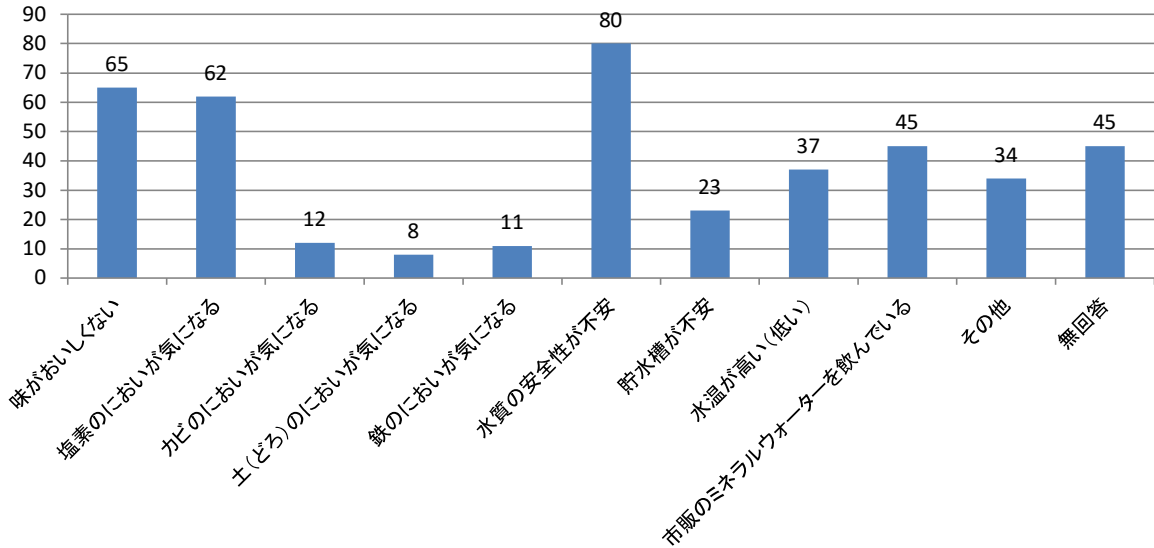
問9 問8で「(1)そのまま(そのまま冷やして)飲んでいる」と回答された方以外におたずねします。水道水をそのまま飲まない理由は次のうちどれですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 味がおいしくない	65	16.5%
(2) 塩素のおいが気になる	62	15.7%
(3) カビのおいが気になる	12	3.0%
(4) 土(どろ)のおいが気になる	8	2.0%
(5) 鉄のおいが気になる	11	2.8%
(6) 水質の安全性が不安	80	20.3%
(7) 貯水槽が不安	23	5.8%
(8) 水温が高い(低い)	37	9.4%
(9) 市販のミネラルウォーターを飲んでいる	45	11.4%
(10) その他	34	8.6%
(11) 無回答	45	11.4%
計	422	106.9%

※構成比は、総回答者数に対する割合

その他・・・水道管の老朽化が心配、乳幼児に使用するため等

(回答数)



○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
味がおいしくない	84人	21.4%
塩素のにおいが気になる	87人	22.1%
カビのにおいが気になる	23人	5.9%
土(どろ)のにおいが気になる	14人	3.6%
鉄のにおいが気になる	9人	2.3%
水質の安全性が不安	107人	27.2%
貯水槽が不安	38人	9.7%
水温が高い(低い)	16人	4.1%
市販のミネラルウォーターを飲んでいる	70人	17.8%
その他	50人	12.7%
無回答	7人	1.8%
合計	505人	128.5%

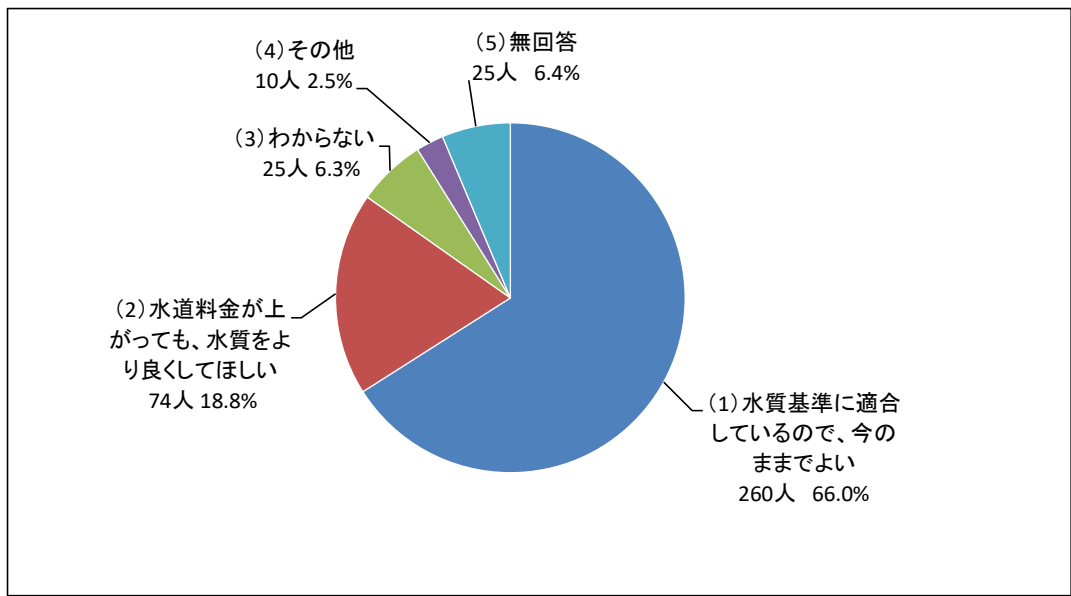
水道水をそのまま飲まない理由は、前回・今回とも「水質の安全性が不安」と回答した人の割合が最も高かった。水質の安全性の不安を理由に水道水をそのまま飲まない人の割合を、前回と比較すると6.9ポイント減少しており、約20%であった。次いで多いのが、「味がおいしくない」、「塩素のにおいが気になる」であった。

※構成比は総回答者数に対する割合

問10 鳴門市の水道水は、水道法で定められた水質基準に適合するよう浄水しています。より水質を良くするために、費用が増加することについて、どう思われますか。

	回答数	構成比
(1) 水質基準に適合しているので、今のままでよい	260人	66.0%
(2) 水道料金が上がっても、水質をより良くしてほしい	74人	18.8%
(3) わからない	25人	6.3%
(4) その他	10人	2.5%
(5) 無回答	25人	6.4%
計	394人	100.0%

その他…今までの費用で、より水質をよくして欲しい等



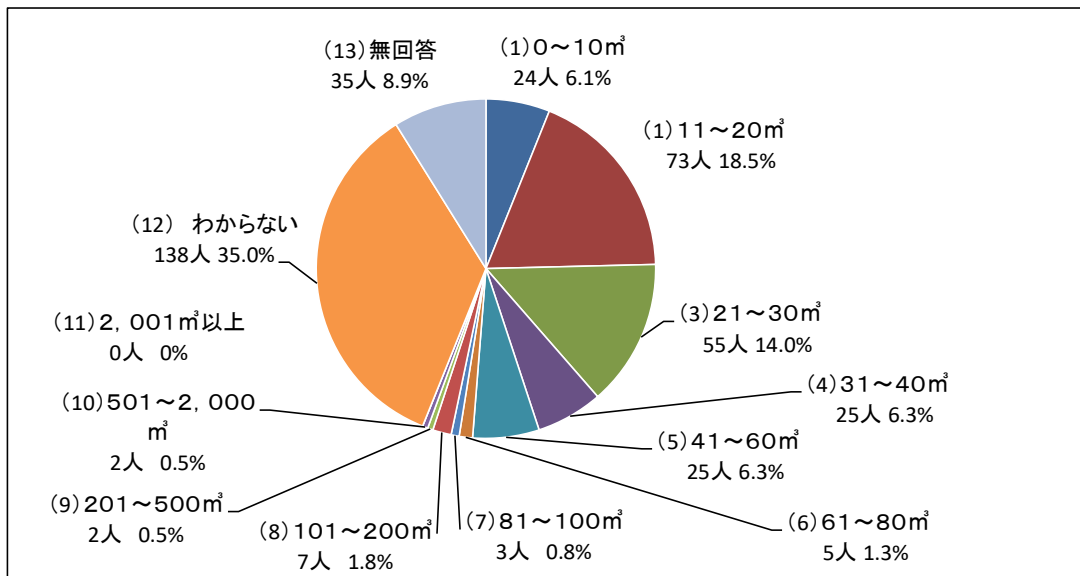
○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
水道料金が上がっても、水質をより良くしてほしい	79人	20.1%
水質基準に適合しているので、今のままでよい	255人	64.9%
わからない	33人	8.4%
その他	13人	3.3%
無回答	13人	3.3%
合計	393人	100.0%

「水質基準に適合しているので、今のままでよい」と回答した人の割合が、66.0%と前回並みの割合で最も高かった。また「水道料金が上がっても、水質をより良くしてほしい」と回答した人の割合は18.8%とこちらも大きな変化はなかった。

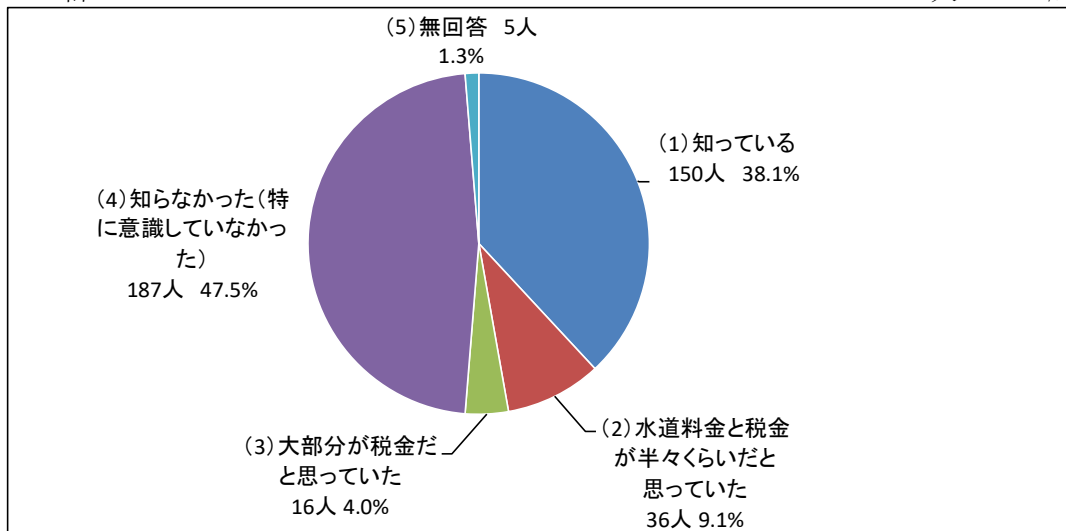
問11 あなたのご家庭(事業所)での1か月間の使用水量はどのくらいですか。

回答数	構成比
(1) 0～10m ³	24人 6.1%
(2) 11～20m ³	73人 18.5%
(3) 21～30m ³	55人 14.0%
(4) 31～40m ³	25人 6.3%
(5) 41～60m ³	25人 6.3%
(6) 61～80m ³	5人 1.3%
(7) 81～100m ³	3人 0.8%
(8) 101～200m ³	7人 1.8%
(9) 201～500m ³	2人 0.5%
(10) 501～2,000m ³	2人 0.5%
(11) 2,001m ³ 以上	0人 0.0%
(12) わからない	138人 35.0%
(13) 無回答	0人 0.0%
計	394人 100.0%



問12 あなたは、水道事業の経費が原則、水道料金でまかなわれていること(独立採算制)を知っていますか。

回答数	構成比
(1) 知っている	150人 38.1%
(2) 水道料金と税金が半々くらいだと思っていた	36人 9.1%
(3) 大部分が税金だと思っていた	16人 4.0%
(4) 知らなかった(特に意識していなかった)	187人 47.5%
(5) 無回答	5人 1.3%
計	394人 100.0%



○前回(平成28年度)調査結果

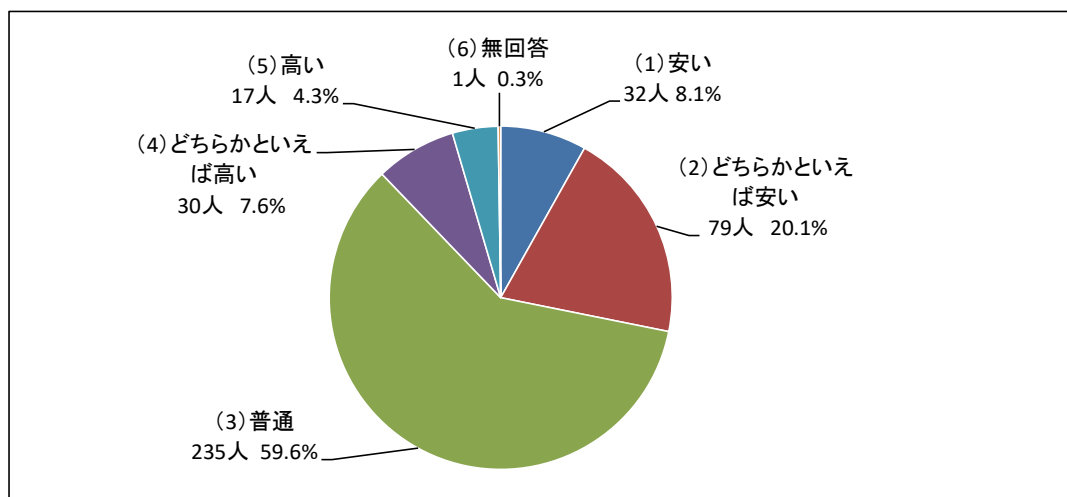
選択項目	人数	構成比
知っている	155人	39.4%
水道料金と税金が半々くらいだと思っていた	60人	15.3%
大部分が税金だと思っていた	9人	2.3%
知らなかった(特に意識していなかった)	163人	41.5%
無回答	6人	1.5%
合計	393人	100.0%

前回と今回の調査を比較すると、水道事業の独立採算制について「知っている」と回答した人の割合に大きな変化はない。

問13 鳴門市の水道料金についてどう思われますか。

- (1) 安い
- (2) どちらかといえば安い
- (3) 普通
- (4) どちらかといえば高い
- (5) 高い
- (6) 無回答

回答数	構成比
32人	8.1%
79人	20.1%
235人	59.6%
30人	7.6%
17人	4.3%
1人	0.3%
394人	100.0%



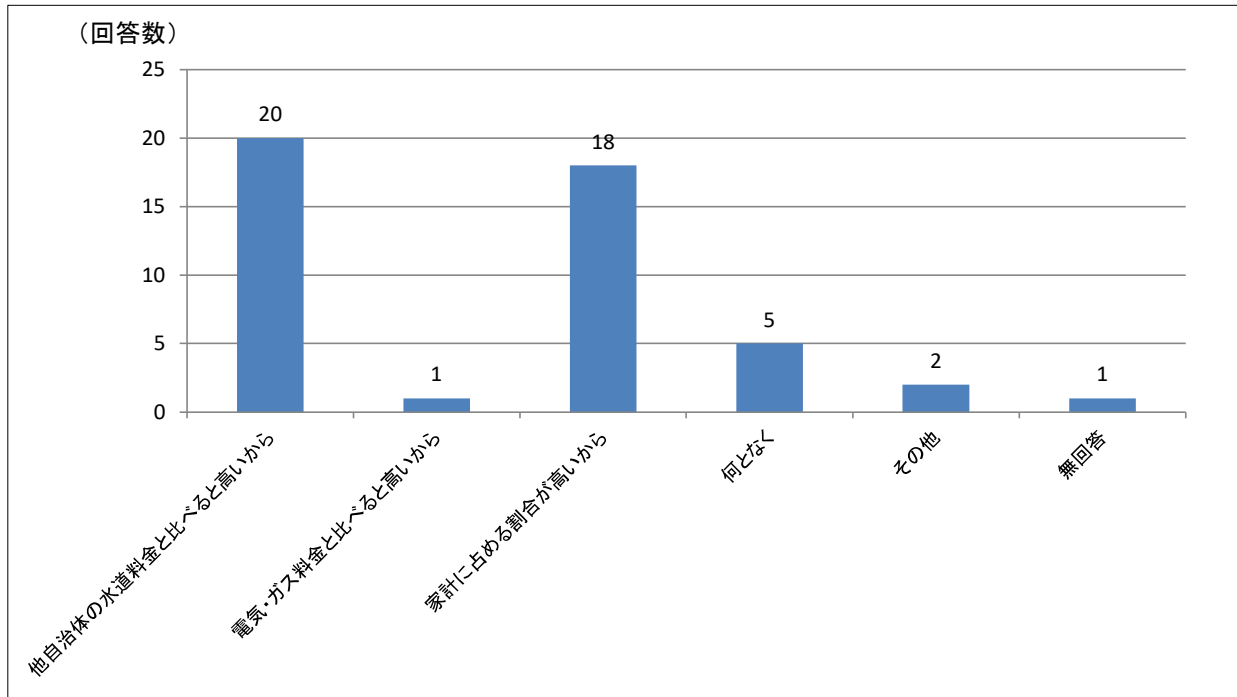
○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
安い	34人	8.7%
どちらかといえば安い	76人	19.3%
普通	231人	58.8%
どちらかといえば高い	33人	8.4%
高い	13人	3.3%
無回答	6人	1.5%
合計	393人	100.0%

水道料金が「安い」または「どちらかといえば安い」と回答した人を合計した割合は28.2%である。前回は28.0%であり、その割合に大きな変化はない。

問14 問13で「(4)どちらかといえば高い」、「(5)高い」と答えられた方におたずねします。水道料金が低いと思う理由は次のうちどれですか。

	回答数	構成比
(1) 他自治体の水道料金と比べると高いから	20	42.6%
(2) 電気・ガス料金と比べると高いから	1	2.1%
(3) 家計に占める割合が高いから	18	38.3%
(4) 何となく	5	10.6%
(5) その他	2	4.3%
(6) 無回答	1	2.1%
計	47	100.0%

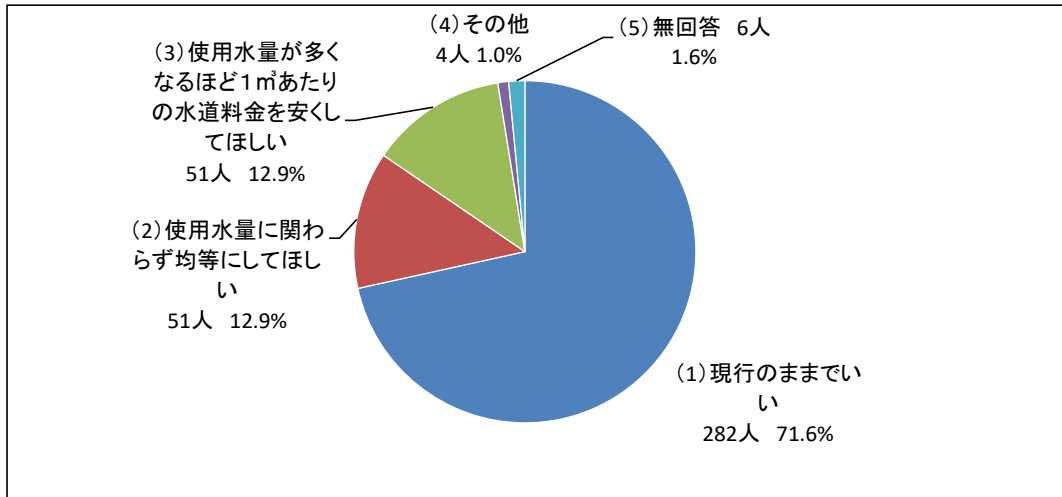


水道料金が低いと思う理由としては、「他自治体の水道料金と比べると高いから」が4割を超えて、最も高くなっている。次いで、「家計に占める割合が高いから」となっている。
 ※(参考)水道管の口径が13mmで20㎡使用した場合の月額料金(税込)
 鳴門市 2,552円
 全国平均(令和4年度末) 3,332円 ※国土交通省「水道カルテ(令和4年度末時点)」

問15 鳴門市の水道料金は、使用水量が多くなるほど1㎡あたりの水道料金が高くなる逡増(ていぞう)制を採用しています。これについてどう思われますか。

	回答数	構成比
(1) 現行のままでいい	282人	71.6%
(2) 使用水量に関わらず均等にしてほしい	51人	12.9%
(3) 使用水量が多くなるほど1㎡あたりの水道料金を安くしてほしい	51人	12.9%
(4) その他	4人	1.0%
(5) 無回答	6人	1.6%
計	394人	100.0%

その他・・・理由を知りたい等



○今回(令和7年度)

選択項目	総計		一般家庭と事業所別の内訳					
			一般家庭		事業所		一般家庭と事業所の併用	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
現行のままでいい	282人	71.6%	252人	72.0%	15人	68.2%	14人	66.7%
使用水量に関わらず均等にしてほしい	51人	12.9%	44人	12.6%	3人	13.6%	4人	19.0%
使用水量が多くなるほど1㎡あたりの水道料金を安くしてほしい	51人	12.9%	44人	12.6%	4人	18.2%	3人	14.3%
その他	4人	1.0%	4人	1.1%	0人	0.0%	0人	0.0%
無回答	6人	1.5%	6人	1.7%	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	394人	100.0%	350人	100.0%	22人	100.0%	21人	100.0%

※問3(一般家庭か事業所について)無回答者(1名)を含まない

○前回(平成28年度)調査結果

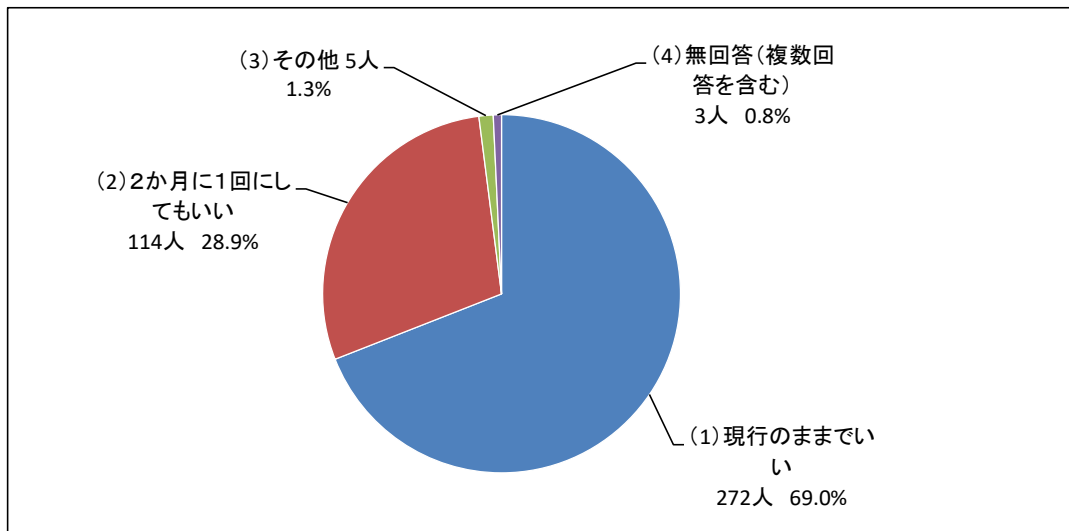
選択項目	総計		一般家庭と事業所別の内訳					
			一般家庭		事業所		一般家庭と事業所の併用	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
現行のままでいい	250人	63.6%	223人	67.6%	13人	41.9%	14人	43.8%
使用水量に関わらず均等にしてほしい	72人	18.3%	57人	17.3%	7人	22.6%	8人	25.0%
使用水量が多くなるほど1㎡あたりの水道料金を安くしてほしい	54人	13.7%	35人	10.6%	10人	32.3%	9人	28.1%
その他	4人	1.0%	2人	0.5%	1人	3.2%	1人	3.1%
無回答	13人	3.3%	13人	3.9%	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	393人	100.0%	330人	100.0%	31人	100.0%	32人	100.0%

前回調査においては、「使用水量が多くなるほど、1㎡あたりの水道料金が安くしてほしい」いわゆる逡減制の料金体系を望んでいる割合が、一般家庭と比較して、事業所及び一般家庭と事業所の併用の方が高くなっていた。今回の調査においては、「現行のままでいい」という意見が、全体では70%を超え、すべてのカテゴリーで60%を超えていた。

問16 平成28年度より、経費節減のため、毎月行っていた水道メーターの検針を2か月に1回とし、2か月分の使用水量を2等分して毎月の請求としています。これについてどう思われますか。

	回答数	構成比
(1) 現行のままでいい	272人	69.0%
(2) 2か月に1回にしてもいい	114人	28.9%
(3) その他	5人	1.3%
(4) 無回答（複数回答を含む）	3人	0.8%
計	394人	100.0%

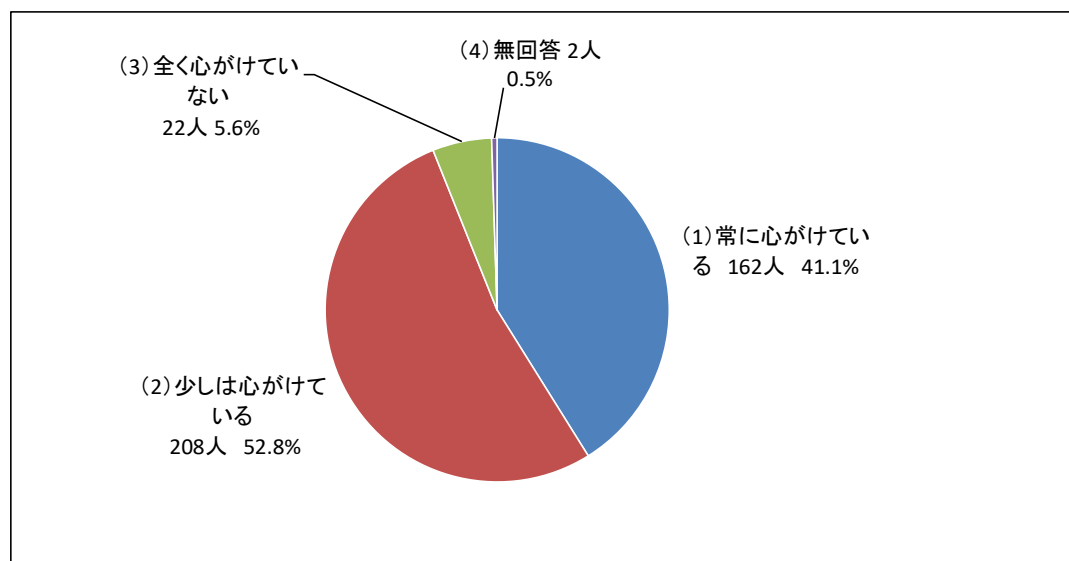
その他・・・3か月に1回にしてもいい等



現在の水道料金の請求方法については、「現行のままでいい」と回答した人の割合は69.0%と最も高かった。次いで、請求を「2か月に1回にしてもいい」と回答した人の割合は28.9%であった。

問17 あなたのご家庭(事業所)では節水を心がけていますか。

	回答数	構成比
(1) 常に心がけている	162人	41.1%
(2) 少しは心がけている	208人	52.8%
(3) 全く心がけていない	22人	5.6%
(4) 無回答	2人	0.5%
計	394人	100.0%



○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
常に心がけている	169人	43.0%
少しは心がけている	200人	50.9%
全く心がけていない	14人	3.6%
無回答	10人	2.5%
合計	393人	100.0%

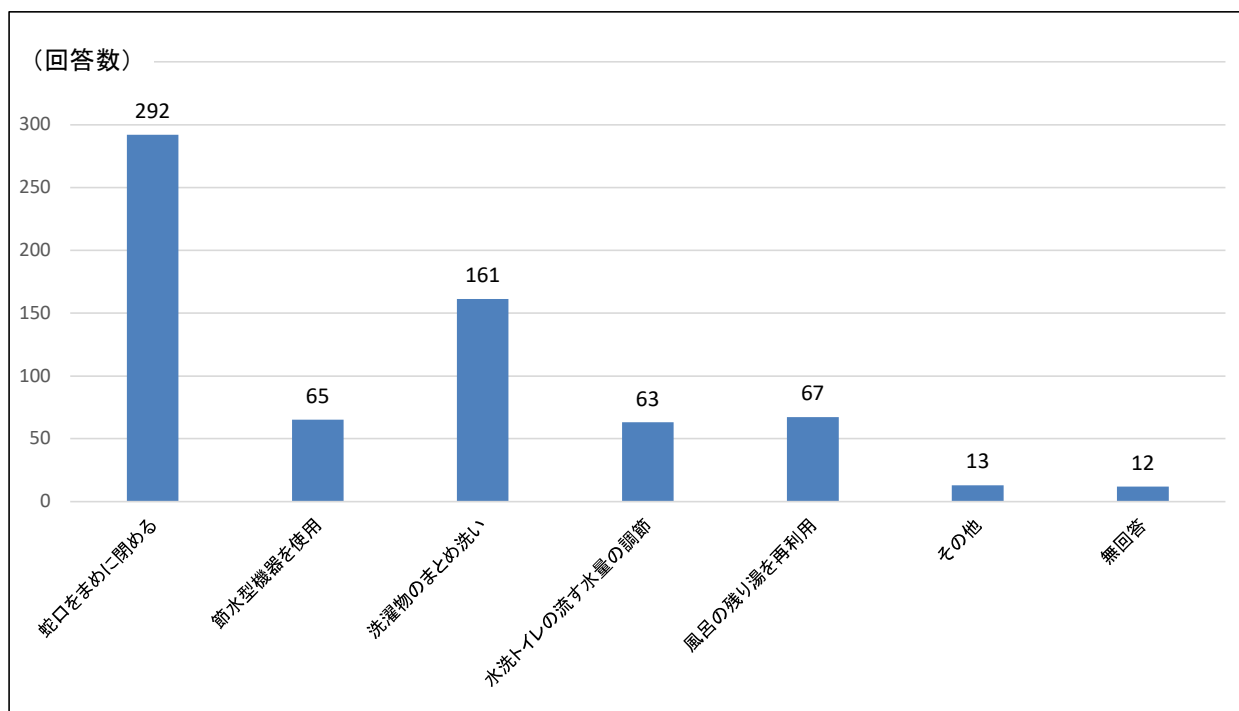
「常に心がけている」と「少しは心がけている」と回答した人を合計した割合は、前回と同様に90%を超えており、市民、事業所の間に節水意識が定着している。

問18 問17で「(1)常に心がけている」、「(2)少しは心がけている」と答えられた方におたずねします。おもにどのような方法で節水を心がけていますか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 蛇口をまめに閉める	292	78.9%
(2) 節水型機器を使用	65	17.6%
(3) 洗濯物のまとめ洗い	161	43.5%
(4) 水洗トイレの流す水量の調節	63	17.0%
(5) 風呂の残り湯を再利用	67	18.1%
(6) その他	13	3.5%
(7) 無回答	12	3.2%
計	673	181.8%

※構成比は、総回答者数に対する割合

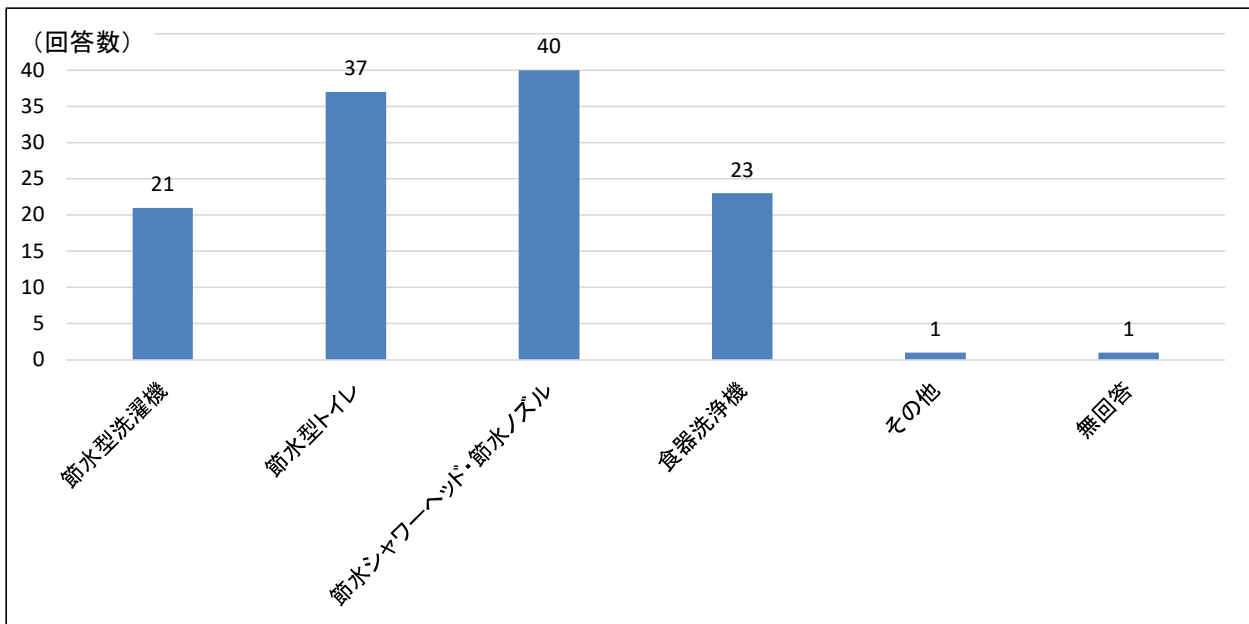
その他・・・蛇口の出水量調節、雨水をためて花の水やりをする、夏場はシャワーのみ等



問19 問18で「(2)節水型機器を使用」と答えられた方におたずねします。あなたのご家庭(事業所)で使用している節水型機器は、次のうちどれですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 節水型洗濯機	21	32.3%
(2) 節水型トイレ	37	56.9%
(3) 節水シャワーヘッド・節水ノズル	40	61.5%
(4) 食器洗浄機	23	35.4%
(5) その他	1	1.5%
(6) 無回答	1	1.5%
計	123	189.1%

※構成比は、総回答者数に対する割合

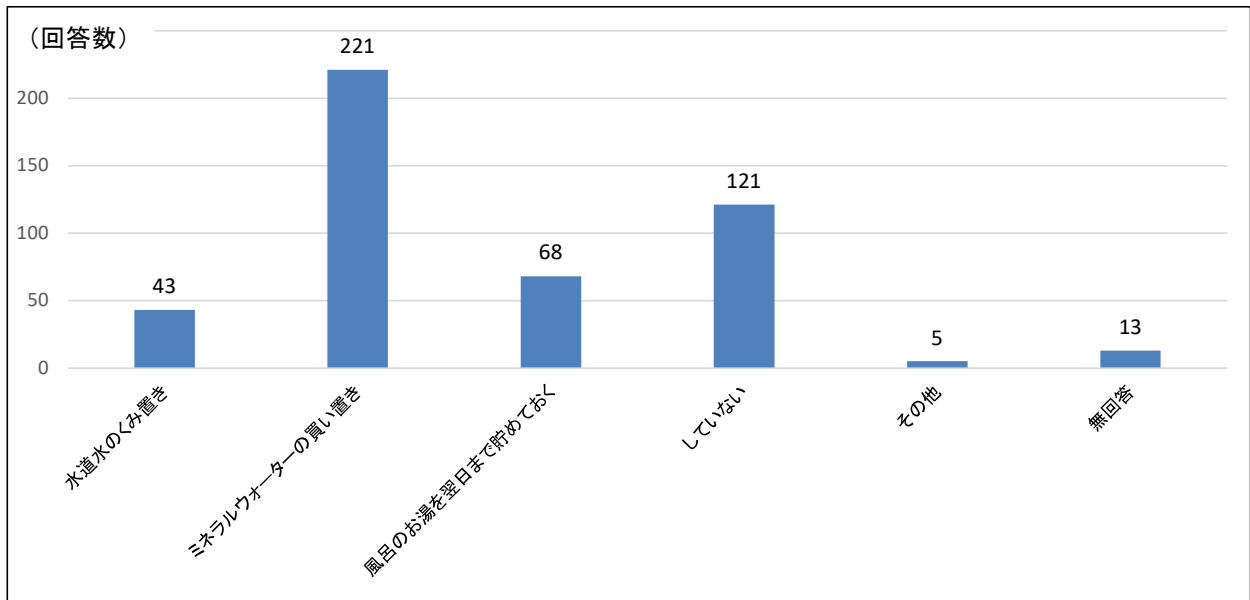


問20 地震等の災害に備えて、ご家庭(事業所)で水の備蓄等をされていますか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 水道水のくみ置き	43	10.9%
(2) ミネラルウォーターの買い置き	221	56.1%
(3) 風呂のお湯を翌日まで貯めておく	68	17.3%
(4) していない	121	30.7%
(5) その他	5	1.3%
(6) 無回答	13	3.3%
計	471	119.6%

※構成比は、総回答者数に対する割合

その他・・・井戸水、湧き水を多めに汲んで来ている等



○今回(令和7年度)

選択項目	総計		一般家庭と事業所別の内訳					
			一般家庭		事業所		一般家庭と事業所の併用	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
水道水のくみ置き	43人	10.9%	40人	11.4%	1人	4.5%	2人	9.5%
ミネラルウォーターの買い置き	221人	56.1%	199人	56.9%	9人	40.9%	12人	57.1%
風呂のお湯を翌日まで溜めておく	68人	17.3%	63人	18.0%	1人	4.5%	4人	19.0%
していない	121人	30.7%	102人	29.1%	12人	54.5%	7人	33.3%
その他	5人	1.3%	5人	1.4%	0人	0.0%	0人	0.0%
無回答	13人	3.3%	12人	3.4%	0人	0.0%	1人	4.8%
合計	471人	119.6%	421人	120.2%	23人	104.4%	26人	123.7%

※問3(一般家庭か事業所について)無回答者(1名)を含まない。構成比は総回答者数に対する割合。

○前回(平成28年度)調査結果

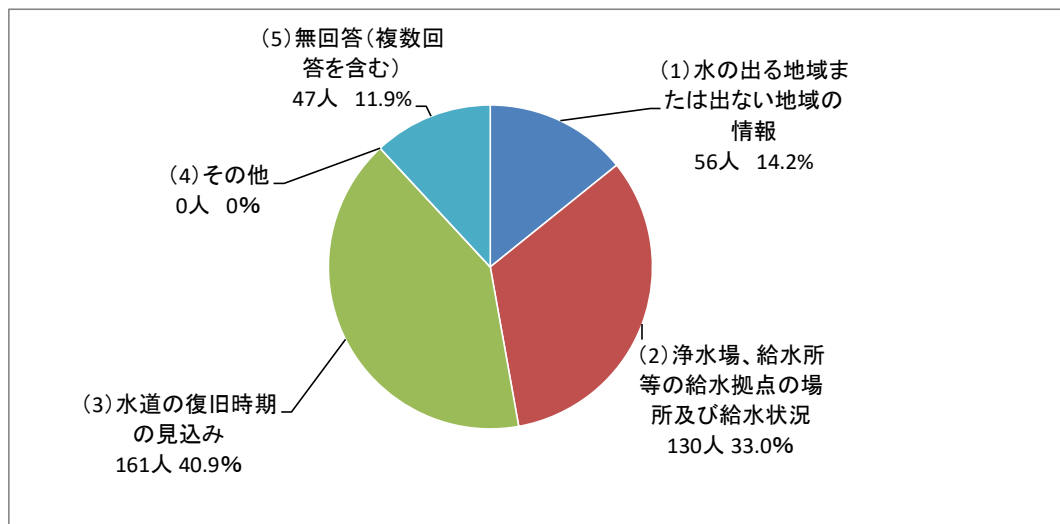
選択項目	総計		一般家庭と事業所別の内訳					
			一般家庭		事業所		一般家庭と事業所の併用	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
水道水のくみ置き	30人	7.6%	28人	8.5%	0人	0.0%	2人	6.3%
ミネラルウォーターの買い置き	179人	45.5%	150人	45.5%	14人	45.2%	15人	46.9%
風呂のお湯を翌日まで溜めておく	89人	22.6%	80人	24.2%	4人	12.9%	5人	15.6%
していない	134人	34.1%	108人	32.7%	13人	41.9%	13人	40.6%
その他	10人	2.5%	8人	2.4%	0人	0.0%	2人	6.3%
無回答	24人	6.1%	19人	5.8%	3人	9.7%	2人	6.3%
合計	466人	118.6%	393人	119.1%	34人	109.7%	39人	121.9%

※構成比は総回答者数に対する割合

水の備蓄等を「していない」と回答した人の割合は、前回調査と比較すると3.4ポイント減少しており、防災意識の向上が見られるが、いまだ全体の約30%が災害に備えた水の備蓄等を行っていない。全てのカテゴリで「ミネラルウォーターの買い置き」が最も高い。また一般家庭と比較して、事業所(一般家庭との併用を含む)のほうが、水の備蓄等を「していない」と回答した人の割合が高かった。

問21 災害発生時に、ご自宅(事業所)で水道が使用できなくなったとき、一番早く知りたい情報は、次のうちどれですか。

	回答数	構成比
(1) 水の出る地域または出ない地域の情報	56人	14.2%
(2) 浄水場、給水所等の給水拠点の場所及び給水状況	130人	33.0%
(3) 水道の復旧時期の見込み	161人	40.9%
(4) その他	0人	0.0%
(5) 無回答(複数回答を含む)	47人	11.9%
計	394人	100.0%



○前回(平成28年度)調査結果

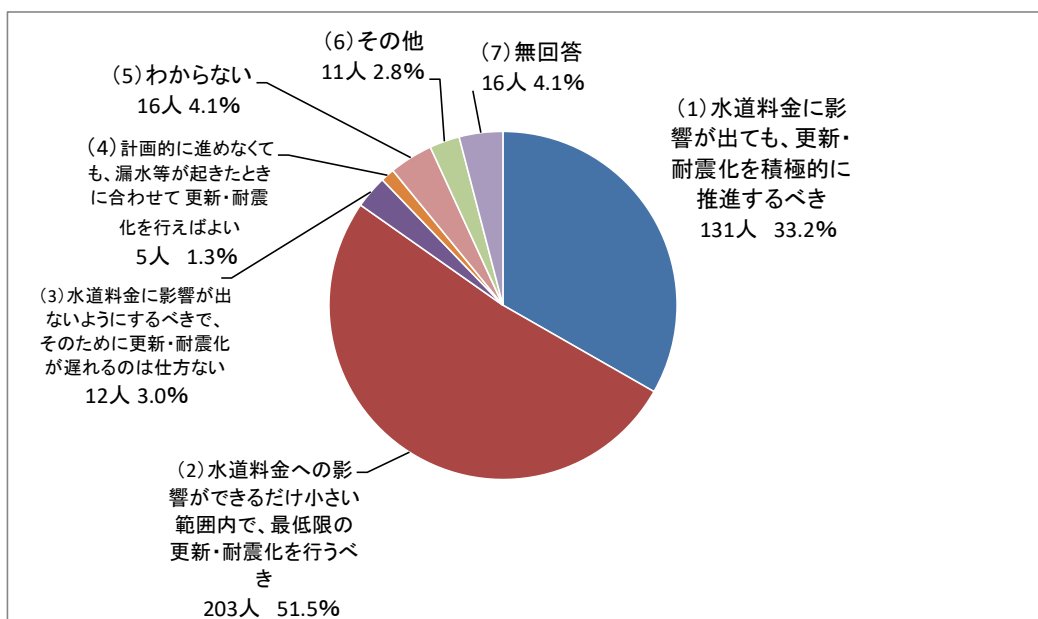
選択項目	人数	構成比
水の出る地域または出ない地域の情報	65人	16.5%
浄水場、給水所等の給水拠点の場所及び給水状況	168人	42.7%
水道の復旧時期の見込み	129人	32.8%
その他	3人	0.8%
無回答	28人	7.1%
合計	393人	100.0%

前回は「浄水場、給水所等の給水拠点の場所及び給水状況」と回答した人の割合が最も高かったが、今回は「水道の復旧時期の見込み」と回答した人の割合が最も高かった。

問22 鳴門市の水道施設は高度経済成長期に整備された施設が多くあり、老朽化が進んでいます。また南海トラフ巨大地震の発生などの大規模災害に備えるためにも、耐震性に優れた施設への更新が必要です。しかし、施設の更新や耐震化には多額の費用や労力がかかります。水道施設の更新・耐震化を今後どのように進めるべきと思いますか。

	回答数	構成比
(1) 水道料金に影響がなくても、更新・耐震化を積極的に推進するべき	131人	33.2%
(2) 水道料金への影響ができるだけ小さい範囲内で、最低限の更新・耐震化を行うべき	203人	51.5%
(3) 水道料金に影響が出ないようにするべきで、そのために更新・耐震化が遅れるのは仕方ない	12人	3.0%
(4) 計画的に進めなくても、漏水等が起きたときに合わせて更新・耐震化を行えばよい	5人	1.3%
(5) わからない	16人	4.1%
(6) その他	11人	2.8%
(7) 無回答	16人	4.1%
計	394人	100.0%

その他・・・国が主導で行うとよい、税金を補助にあてるべき、水道料金への影響を最小限にして災害にも強いオールマイティなシステムを考えてほしい等



○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
水料金に影響が出ても、更新・耐震化を積極的に推進するべき	106人	27.0%
水料金への影響ができるだけ小さい範囲内で、最低限の更新・耐震化を行うべき	203人	51.7%
水料金に影響が出ないようにするべきで、そのために更新・耐震化が遅れるのは仕方ない	21人	5.3%
計画的に進めなくても、漏水等が起きたときに合わせて更新・耐震化を行えばよい	5人	1.3%
わからない	27人	6.9%
その他	7人	1.8%
無回答	24人	6.1%
合計	393人	100.0%

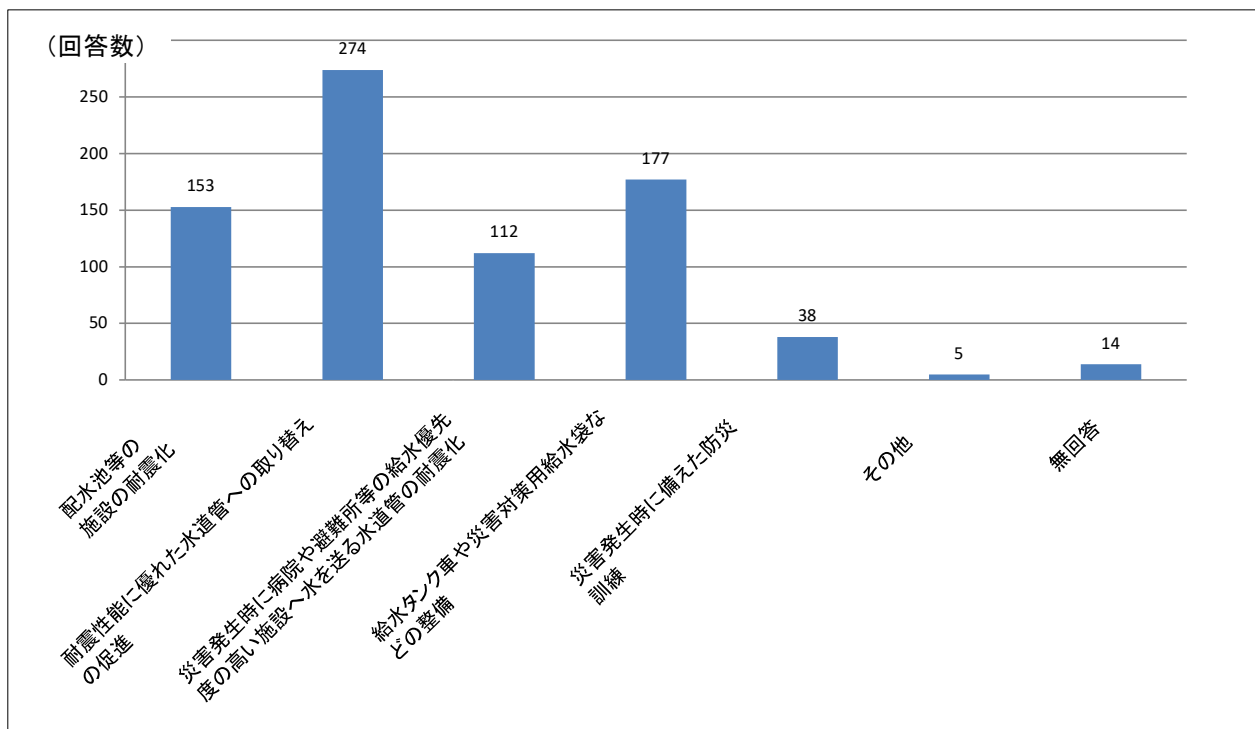
水道施設の更新・耐震化を「積極的に」または「最低限」行うべきと回答した人を合計した割合は80%を超えており、水料金への影響の大小の違いはあるが、更新・耐震化を推進するべきという意見が多いことがわかった。また前回調査より、「積極的に」と回答した人の割合が6.2ポイント増加している。

問23 鳴門市水道の震災対策として重点的に行ってほしいものは、次のうちどれですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 配水池等の施設の耐震化	153	38.8%
(2) 耐震性能に優れた水道管への取り替えの促進	274	69.5%
(3) 災害発生時に病院や避難所等の給水優先度の高い施設へ水を送る水道管の耐震化	112	28.4%
(4) 給水タンク車や災害対策用給水袋などの整備	177	44.9%
(5) 災害発生時に備えた防災訓練	38	9.6%
(6) その他	5	1.3%
(7) 無回答	14	3.6%
計	773	196.1%

※構成比は、総回答者数に対する割合

その他・・・集会所等に水の備蓄等



○前回(平成28年度)調査結果

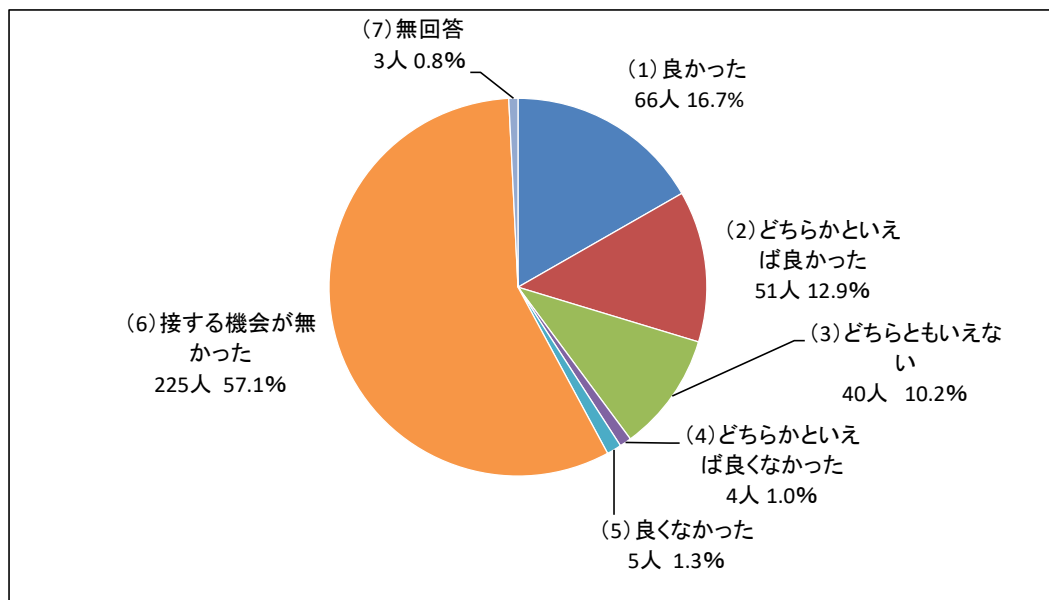
選択項目	人数	構成比
浄水場や配水池等の施設の耐震化	194人	49.4%
耐震性能に優れた水道管への取り替えの促進	203人	51.7%
災害発生時に病院や避難所等の給水優先度の高い施設へ水を送る水道管の耐震化	121人	30.8%
給水タンク車や災害対策用給水袋などの整備	167人	42.5%
災害発生時に備えた防災訓練	35人	8.9%
その他	5人	1.3%
無回答	29人	7.4%
合計	754人	191.9%

前回・今回の調査とも「耐震性能に優れた水道管への取り替えの促進」と回答した人の割合が、最も高くなっている。前回調査より、総回答者に対する割合は、17.8ポイント増加している。

※構成比は総回答者数に対する割合

問24 ここ3年くらいの間の水道職員(委託業者を含む)の対応についてどう思われますか。

	回答数	構成比
(1) 良かった	66人	16.7%
(2) どちらかといえば良かった	51人	12.9%
(3) どちらともいえない	40人	10.2%
(4) どちらかといえば良くなかった	4人	1.0%
(5) 良くなかった	5人	1.3%
(6) 接する機会が無かった	225人	57.1%
(7) 無回答	3人	0.8%
計	394人	100.0%

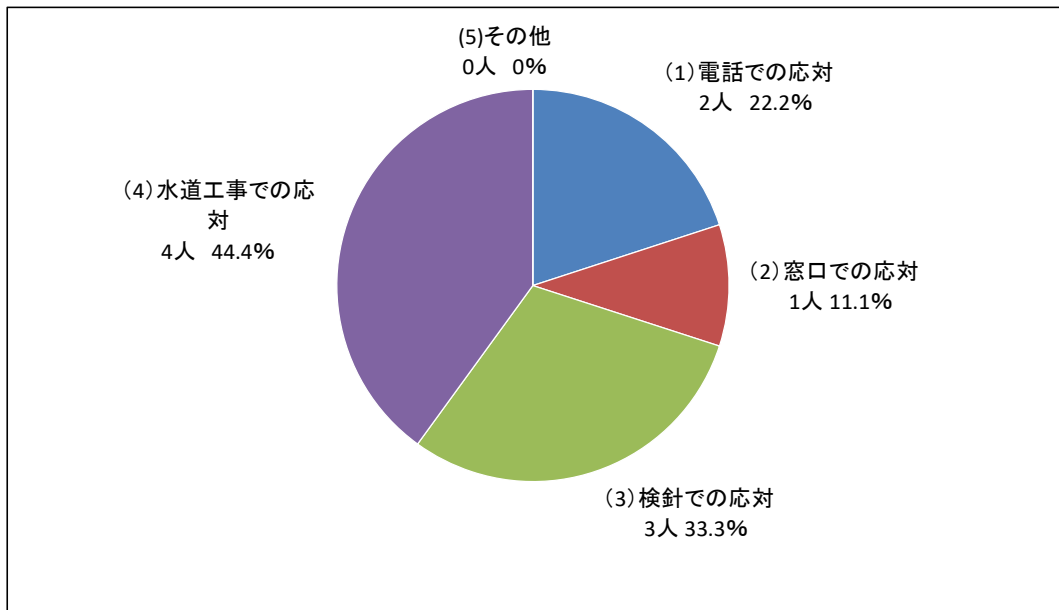


「良かった」、「どちらかといえば良かった」と回答した人の割合は、合計で29.6%である。一方、「どちらかといえば良くなかった」、「良くなかった」と回答した人の割合は、合計で2.3%となっている。

問25 問24で「(4)どちらかといえば良くなかった」、「(5)良くなかった」と答えられた方におたずねします。どのような対応の際に、そう思われましたか。(複数回答可)

	計	構成比
(1) 電話での対応	2人	22.2%
(2) 窓口での対応	1人	11.1%
(3) 検針での対応	3人	33.3%
(4) 水道工事での対応	4人	44.4%
(5) その他	0人	0.0%
計	10人	100.0%

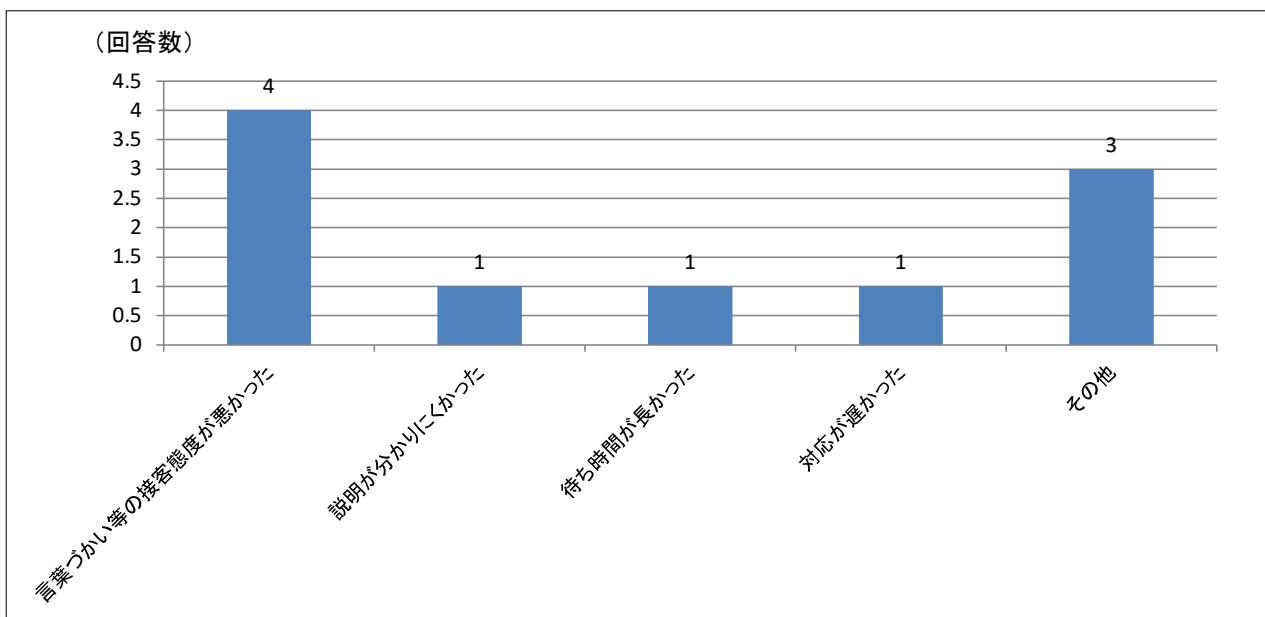
※構成比は総回答者数に対する割合



問26 問24で「(4)どちらかといえば良くなかった」、「(5)良くなかった」と答えられた方におたずねします。そう思われた理由は何ですか。(複数回答可)

理由	回答数	構成比
(1) 言葉づかい等の接客態度が悪かった	4	44.4%
(2) 説明が分かりにくかった	1	11.1%
(3) 待ち時間が長かった	1	11.1%
(4) 対応が遅かった	1	11.1%
(5) その他	3	33.3%
計	10	111.0%

※構成比は総回答者数に対する割合



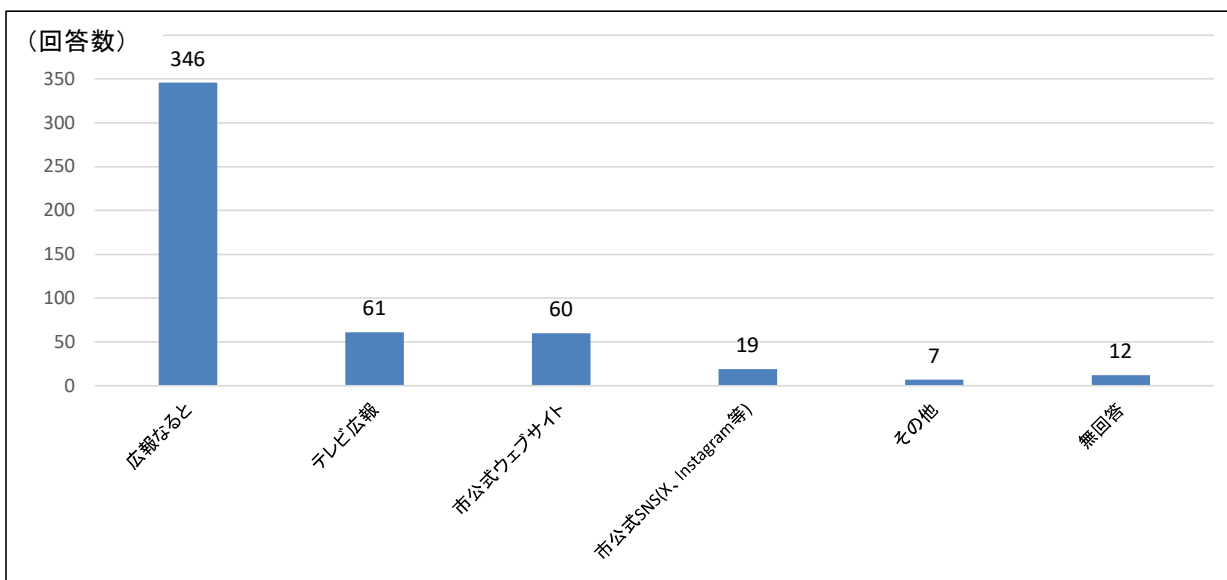
「どちらかといえば良くなかった」、「良くなかった」と思ったのはどのような応対の際かという設問(問25)については、「水道工事での応対」が最も多く、次いで「検針での応対」、「電話での応対」となっている。理由については、「言葉づかい等の接客態度が悪かった」が最も多くなっている。

問27 普段、鳴門市について情報を得ているのはどの媒体ですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 広報なると	346	87.8%
(2) テレビ広報	61	15.5%
(3) 市公式ウェブサイト	60	15.2%
(4) 市公式SNS(X、Instagram等)	19	4.8%
(5) その他	7	1.8%
(6) 無回答	12	3.0%
計	505	128.1%

※構成比は、総回答者数に対する割合

その他…知り合いとの話から等



○年代別内訳

選択項目	20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
広報なると	1人	50.0%	5人	71.4%	18人	72.0%	37人	80.4%	51人	92.7%	230人	90.7%
テレビ広報	0人	0.0%	2人	28.6%	2人	8.0%	7人	15.2%	8人	14.5%	42人	16.3%
市公式ウェブサイト	1人	50.0%	2人	28.6%	4人	16.0%	9人	19.6%	14人	25.5%	30人	11.6%
市公式SNS(X、Instagram等)	0人	0.0%	3人	42.9%	4人	16.0%	5人	10.9%	5人	9.1%	2人	0.8%
その他	1人	50.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	6.5%	0人	0.0%	3人	1.2%
無回答	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	4.0%	1人	2.2%	0人	0.0%	10人	3.9%
合計	3人	150.0%	12人	171.5%	29人	116.0%	62人	134.8%	78人	141.8%	320人	124.5%

※構成比は総回答者数に対する割合

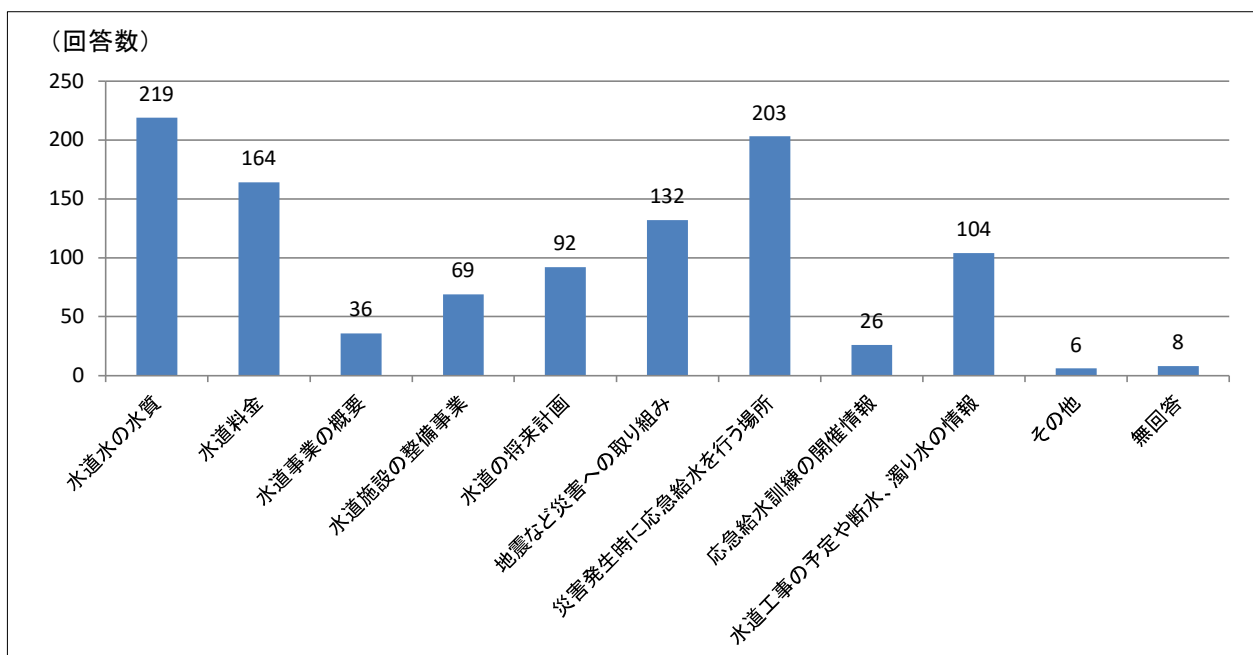
普段、鳴門市について情報を得ている媒体としては、市の広報誌である「広報なると」が87.8%と8割を超える回答となっている。年代別で見ると、20歳未満を除いて、全てのカテゴリで「広報なると」と回答した人の割合は、7割以上となっている。

問28 鳴門市の水道について知りたい情報は、次のうちどれですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 水道水の水質	219	55.6%
(2) 水道料金	164	41.6%
(3) 水道事業の概要	36	9.1%
(4) 水道施設の整備事業	69	17.5%
(5) 水道の将来計画	92	23.4%
(6) 地震など災害への取り組み	132	33.5%
(7) 災害発生時に応急給水を行う場所	203	51.5%
(8) 応急給水訓練の開催情報	26	6.6%
(9) 水道工事の予定や断水、濁り水の情報	104	26.4%
(10) その他	6	1.5%
(11) 無回答	8	2.0%
計	1059	268.7%

※構成比は、総回答者数に対する割合

その他・・・老朽化しているところ等



○前回(平成28年度)調査結果

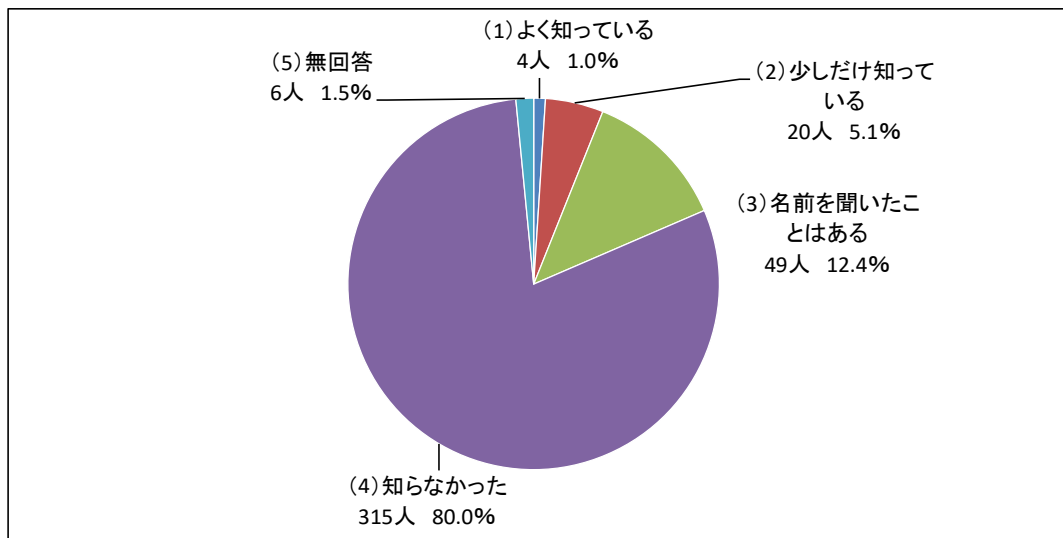
選択項目	人数	構成比
水道水の水質	257人	65.4%
水道料金	123人	31.3%
水道事業の概要	49人	12.5%
水道施設の整備事業	63人	16.0%
水道の将来計画	74人	18.8%
地震など災害への取り組み	145人	36.9%
災害発生時に 応急給水を行う場所	241人	61.3%
応急給水訓練の開催情報	19人	4.8%
水道工事の予定や断水、濁り 水の情報	142人	36.1%
その他	4人	1.0%
無回答	15人	3.8%
合計	1,132人	288.0%

前回・今回の調査とも「水道水の水質」と回答した人の割合が最も高く、水質に対する高い関心が表れている。それに次ぐのが、「災害発生時に応急給水を行う場所」となっており、前回調査と同様に、防災・危機管理に対する関心も高い。

※構成比は総回答者数に対する割合

問29 鳴門市では、平成28年3月に、水道事業の目指すべき理想像や今後取り組むべき方策等を定めた「鳴門市水道事業ビジョン」を策定し、市公式ウェブサイト(ホームページ)に掲載しています。「鳴門市水道事業ビジョン」をご存知ですか。

	回答数	構成比
(1) よく知っている	4人	1.0%
(2) 少しだけ知っている	20人	5.1%
(3) 名前を聞いたことはある	49人	12.4%
(4) 知らなかった	315人	80.0%
(5) 無回答	6人	1.5%
計	394人	100.0%



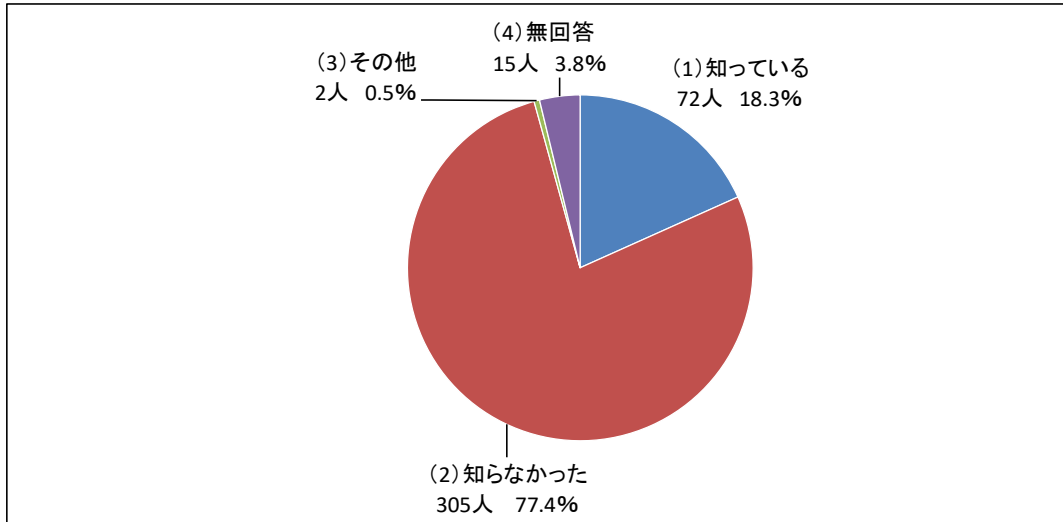
○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
よく知っている	5人	1.3%
少しだけ知っている	26人	6.6%
名前を聞いたことはある	36人	9.2%
知らない	313人	79.6%
無回答	13人	3.3%
合計	393人	100.0%

「鳴門市水道事業ビジョン」については、前回と同様に、約80%が「知らなかった」と回答している。

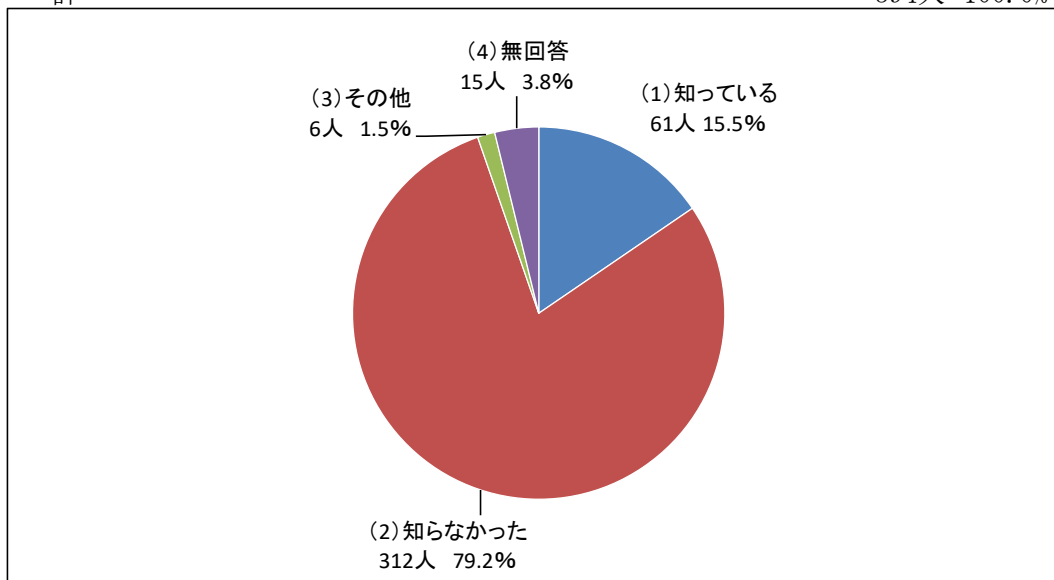
問30 現在建設中の当市と北島町との共同浄水場が令和8年4月に供用開始(通水)予定であることを知っていますか。

回答内容	回答数	構成比
(1) 知っている	72人	18.3%
(2) 知らなかった	305人	77.4%
(3) その他	2人	0.5%
(4) 無回答計	15人	3.8%
合計	394人	100.0%



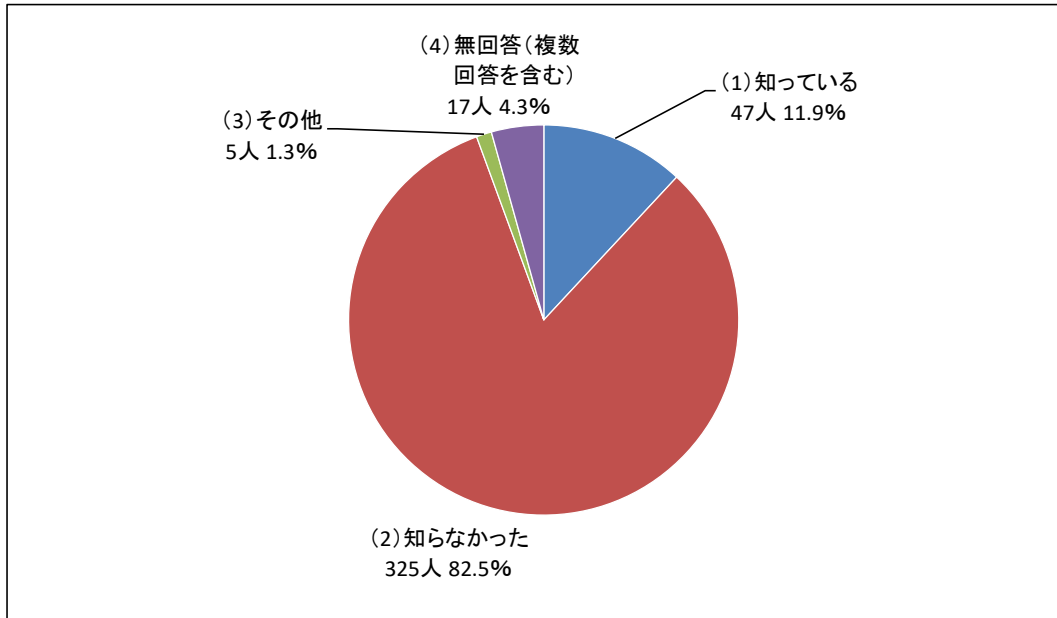
問31 冬の冷え込みが厳しい時期における水道管の凍結防止について、注意点と対策を市公式ウェブサイト(ホームページ)で公開していることを知っていますか。

回答内容	回答数	構成比
(1) 知っている	61人	15.5%
(2) 知らなかった	312人	79.2%
(3) その他	6人	1.5%
(4) 無回答計	15人	3.8%
合計	394人	100.0%



問32 検針票をご覧になって、使用水量が急に増えた場合には、漏水の可能性が考えられます。漏水の確認方法について、市公式ウェブサイト(ホームページ)で公開していることを知っていますか。

	回答数	構成比
(1) 知っている	47人	11.9%
(2) 知らなかった	325人	82.5%
(3) その他	5人	1.3%
(4) 無回答(複数回答を含む)	17人	4.3%
計	394人	100.0%

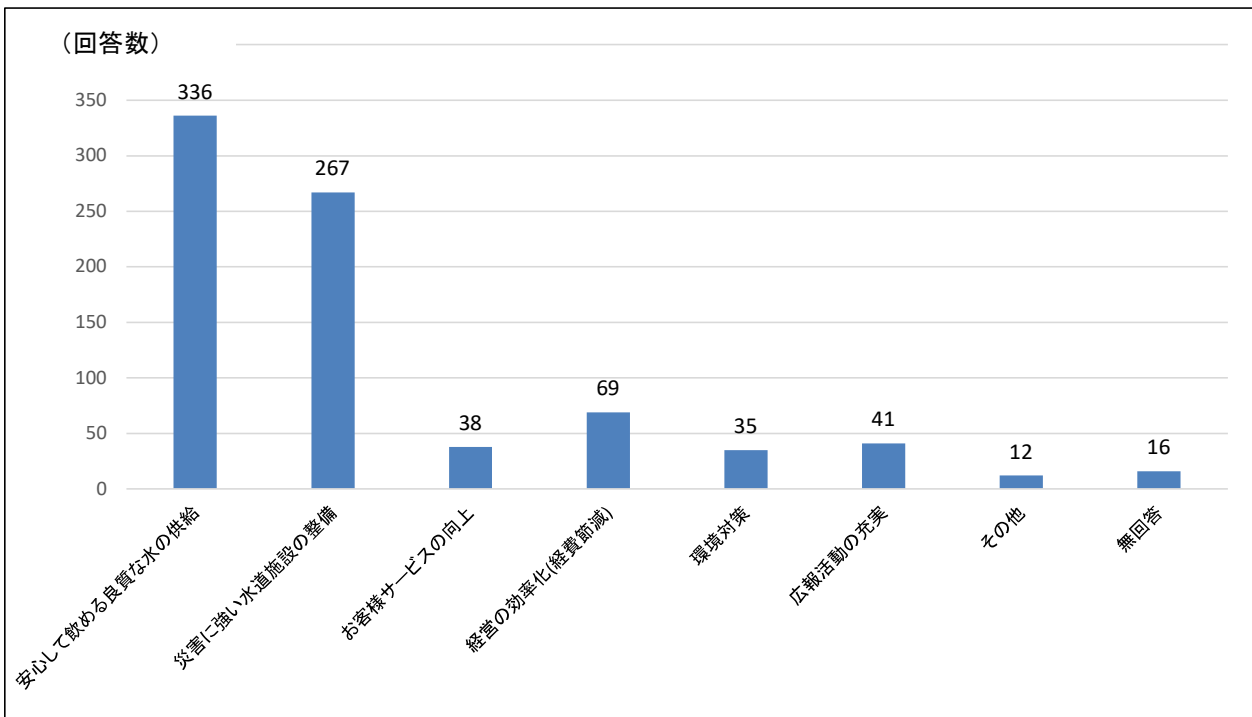


問33 今後、鳴門市の水道に望むことは、次のうちどれですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
(1) 安心して飲める良質な水の供給	336	85.3%
(2) 災害に強い水道施設の整備	267	67.8%
(3) お客様サービスの向上	38	9.6%
(4) 経営の効率化(経費節減)	69	17.5%
(5) 環境対策	35	8.9%
(6) 広報活動の充実	41	10.4%
(7) その他	12	3.0%
(8) 無回答	16	4.1%
計	814	206.6%

※構成比は、総回答者数に対する割合

その他・・・クレジット支払い、水を美味しくして欲しい等



○前回(平成28年度)調査結果

選択項目	人数	構成比
安心して飲める良質な水の供給	353人	89.8%
災害に強い水道施設の整備	242人	61.6%
お客様サービスの向上	42人	10.7%
経営の効率化(経費削減)	92人	23.4%
環境対策	56人	14.2%
広報活動の充実	33人	8.4%
その他	2人	0.5%
無回答	10人	2.5%
合計	830人	211.2%

今後、鳴門市の水道に望むことは、「安心して飲める良質な水の供給」と回答した人の割合が最も高く、前回と同様に、水質の安全性を求める声が多い。次いで「災害に強い水道施設の整備」、「経営の効率化(経費節減)」の順となっており、これらも前回調査と比べて、大きな変化はない。

※構成比は総回答者数に対する割合

○まとめ

今回のアンケート結果と前回(H28 年度実施)のアンケート結果を比較し、回答の構成比に着目すると、上位を占める回答の傾向から全体的には、本市の水道に対する意識に大きな変化はみられなかった。

これら調査結果のうち、注目すべき点として、問9「水道水をそのまま飲まない理由は」との回答では、「水質の安全性が不安」と答えた人の割合が、問 28「鳴門市の水道について知りたい情報は」との回答では、「水道水の水質」と答えた人の割合が、問 33「今後、鳴門市の水道に望むことは」との回答では、「安心して飲める良質な水の供給」と答えた人の割合が、いずれも前回の結果と同様にトップを占めていることから、水道利用者は、引き続き水質の安全性を求めているものと考えられる。

次に、問 22「施設の更新や耐震化には多額の費用や労力がかかるが、水道施設の更新・耐震化を今後どのように進めるべきと思いますか」との回答では、「水道料金への影響ができるだけ小さい範囲内で、最低限の更新・耐震化を行うべき」、「水道料金に影響がなくても、更新・耐震化を積極的に推進するべき」と答えた人の割合が、前回の結果と同様に上位を占め、合計すると80%を超える結果となった。このことから、耐震化の推進により水道料金に影響を与えることについては、一定の範囲においては、やむを得ないとの意識があるものと考えられる。

また、問 22 の「水道料金に影響がなくても、更新・耐震化を積極的に推進するべき」と答えた人の割合が、前回より6.2%上昇し、問 23「鳴門市水道の震災対策として重点的に行ってほしいものは」との回答では、「耐震性能に優れた水道管への取り替えの促進」と答えた人の割合が、前回から17.8%上昇した。このことは、長期間の断水が生じた能登半島地震などの被災報道等により、水道利用者の意識に変化が生じ、耐震化対策について一層の取り組みを強く求めているものと考えられる。

最後に、問 29・問 30 の鳴門市水道が取り組む主要な計画や事業については、「知らなかった」と答えた人の割合が高く、広報活動への課題があらためて示された。

今後も引き続き、水質の安全性の確保と施設の耐震化などを推進するとともに、積極的な広報活動などにより本市の水道事業に対する理解と関心を深めていただくよう一層の取り組みを進めます。